

第7回

経済学の古典 — 本学所蔵原本とリプリント版展示 —

2004年10月19日～12月4日

ドイツの出版社 Verlag Wirtschaft und Finanzenが企画出版した『Klassiker der National ökonomie』(全100巻)は、経済学の古典を刊行当時の体裁のまま復刻した叢書であり、スミス『国富論』からマルクス『資本論』、ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』まで、文字通り現代の経済に大きな影響を与えた名著が収められています。この100点を一同に集めて展示することで、このような資料の存在を広めて、学習・研究の利用を促進したいという目的で開催しました。

第8回

「布施辰治・自由と人権」資料展

2005年1月13日～2月28日

本学(明治法律学校)を明治35年に卒業した故・布施辰治弁護士(昭和28年死去)が、朝鮮人の人権擁護活動の功績により、2004年12月21日、韓国の「建国勲章」を授与されました。日本人の授与は初めてのことで、韓国のメディアで布施氏は「日本のシンドラ」と称えられ、その功績が高く評価されたのです。本学卒業生の栄誉ある授章を記念して、本学法学部により2005年1月13日にシンポジウムが開催されました。このシンポジウムと連携して、図書館が所蔵する布施辰治旧蔵資料の公開・展示を行いました。

第9回

新収貴重書展

2005年3月26日～6月5日

2003年度に新たに蔵書となった貴重書を展示。フィッチャーノ訳プラトン『著作集』(1518年)や絵巻『天狗の内裏』(江戸初期～中期写)などが展示されました。

第10回

図書館の文化史(2005)

2005年7月6日～10月3日

毎年度開催。新たにグーテンベルク『四十二行聖書』【図5】の零葉原本(1455年頃)、プロティノス『著作集』(1492年)が加わりました。

第11回

岡本喜八展

2005年10月16日～11月29日

2005年2月に逝去した岡本喜八監督(明治大学専門部商科卒業)に、明治大学特別功労賞が贈られるのと連動して開催。映画ポスター(複製)や映画台本、著作、雑誌記事など幅広く展示しました。



図5 「四十二行聖書」零葉原本

これまでのギャラリーの展示内容は、図書館HPの「OPENLibrary」でもご覧いただけます。

<http://www.lib.meiji.ac.jp/openlib/gallery/index.html>

Check